ライオンズクラブ国際協会
336－A地区 2R4Z

西条

SAIJO LIONS CLUB

2013−2014
1
No. 439

Topics

年賀ご挨拶
餅つき奉仕（星の里　／　ゆるぎ荘）
１２月第２家族例会開催
ＹＣＥ冬期派遣生イタリアへ出発

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会会長　バリー・J・パーマー

テーマ　夢を追いかけよう

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　松 前 龍 宗

スローガン　ときめく　明日へ　WE　SERVE

キーワード　「真価発揮」

2013-2014 年度　2R4Z　西条ライオンズクラブ会長　原　育 雄

スローガン　人と大地に優しく　WE　SERVE

新年のご挨拶　会長　原 育雄

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、昨年中は大変お世話になりました。
執行部を代表して御礼申し上げます。
昨年は、アベノミクス効果で経済は右肩上がりだったようですが、私にはあまり実感がありません。
それどころか、今年４月には消費税が８パーセントに上がり、ますます先行きが見えない情勢となりそうです。
一方ライオンズクラブにおきましては、来る国際協会設立 100 周年を５年後に控えて、家族会員増強をドリーム計画と銘打って大幅な会員の増強を要請されております。西条ライオンズクラブとしても、家族会員の入会を進めて行く方向で検討しています。
残り半年となりましたが、西条ライオンズクラブとしても多様な事業を企画しています。
担当委員会はじめ、会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

１２月第２家族例会では多くの皆様にご参加いただきありがとうございました

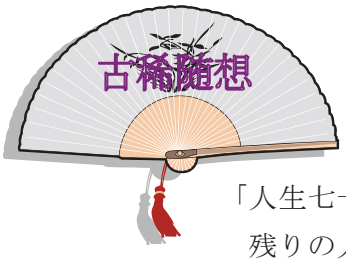
年賀を迎えられた方

【　米寿　（数え年８８才）　】・・・・・今 岡 徳 次 郎 様　（　昭和 2 年　2 月 23 日生　）
【　古稀　（数え年７０才）　】・・・・・伊 藤　孝 司　様　(　昭和 20 年 11 月 10 日生　)
【　還暦　（数え年６０才）　】・・・・・伊 藤　正 己　様　（　昭和 29 年 3 月 22 日生　）

【　年男　・　午年　】

・・・・・吉 峯　秀 則　様　（昭和　5 年 11 月 15 日生　）
・・・・・越 智　英 明　様　（　昭和 17 年 11 月 19 日生　）
・・・・・伊 藤　正 己　様　（　昭和 29 年 3 月 22 日生　）
・・・・・清 水　泰 雅　様　（　昭和 41 年 12 月 31 日生　）

＊＊



『　７０歳からの人生、こう生きる　』

伊藤孝司

「人生七十　古稀稀なり」。私自身、古稀を迎えてめでたくもあり、残りの人生の年月を思えば寂しくもあり、まさに複雑な心境である。かつての古い赤茶色に変色した写真を見るたび、人生は必ずしも順風満帆とはいかないのが世の常と、ここまでよく頑張ったのだと無理して納得している自分がいる。この年齢になっても、人生の歩み方は本当に難しい。

しかし、人生８０年時代、そして６５歳定年という流れの中で、７０歳は、還暦と同じく老としてはまだ玄関口ではないか。実際に自らの技術や技能、指導力を活かし、企業との信頼関係を築いている例もある。年齢を重ねてきたからこそ見えること、できることもあり、その意味では「７０歳パワー」に期待される社会的役割は小さくない。

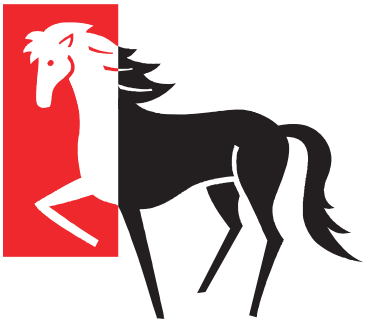
私のこれからの人生、やるべき事は沢山ある。これまで支えてくれた家族や仲間、多くの皆さまの温かい励ましに感謝しながら、「ふるさと西条」のために、全力投球で頑張りたい。

＊＊

『　還暦を迎えて　』

伊藤正己

まず、この世に送り出してくれた、両親に感謝いたします。
そして、育ててくれた祖父母に、ありがとうございます。
これまでに出逢った友人たち、先輩たち、人生における師と呼べる方々に感謝します。今の幸せを感じさせてくれる、妻、子供、孫たちに、ありがとうと日々思うところであります。そして、現在ライオンズクラブと出会い、その一員として活動できることに感謝しています。
ある人が言っていましたが、“お返しを期待しない”、“感謝の言葉も求めない”と・・・。
まさに、≪We　Serve≫本当の奉仕であると、改めて考えさせられるところです。
６０年間で、一巡りの暦が戻るといわれている、まさに今からの新しい人生を、大きな夢のため、人々のため、家族のため、一生懸命毎日を大切に歩んでいきたいと思います。



『 午 年 に 思 う こ と 』

吉峯秀則

「光陰矢の如し」最近８０才を過ぎると、文字通り日時の過ぎゆくのが矢鱈と早く感じられる様に思います。昭和５４年に、故 菊池Ｌ、故 寺田Ｌと３名一緒に入会し、五役・会長・地区委員・ＭＪＦ（２回）・現在尚、終身会員として在籍中。その間、会員諸兄の友愛を寛容の精神に支えられながら、数々のアクティビティーに参加させて頂き、数々の素晴らしい思い出を残させて頂きました。改めて、この紙上を借りて深く感謝申し上げます。

七回目の午年を迎えるにあたり、そもそも午（馬）は、そむく・逆らう即ち上昇する陰と下追する陽との抵触を意味すると云われ、公私共に今年は劇的変化が予想される年に当たります。

「６０、７０は洟垂れ小僧、９０になってお迎えが来たら、まだまだ早いと追い返す。１００才からが男盛り」と１０７才まで創作を続けられた、平櫛田中（彫刻家）には及ばないとしても、元気で長生きをして、ライオニズムに徹した余生を過ごしたいと思っている昨今です。

さて、馬に纏わる【新春３題】

①馬耳東風　②人間万事塞翁が馬　③荒野の白バカ馬

『 年 男 を 迎 え て 』

越智英明

６回目の午年を迎えました。

振り返れば、還暦を過ぎてからの早かったこと。私は昭和４３年、西原 功先生と伝統ある西条 LC に入会させていただきました。あれから４６年、今や在籍最古参となりました。

この間、多くの先輩方に接したことが、私にとって大きな財産となっています。何といっても、横社会のつながりは、言葉では言い尽くせません。もちろん、親しき仲にも礼儀は守らなければなりません。これからも健康に気を付けて、生涯現役の気持ちで励みたいと思います。皆さん、今後共よろしくご指導お願いいたします。

『 馬 の 尻 尾 』

清水泰雅

４回目の年男を迎えます。誕生日が１２月３１日ということで、子供のときはクリスマス、誕生日、正月とイベントが続き、年越しそばとケーキ、プレゼントは誕生日とお年玉が一緒ということも１回か２回？はありました。

去年はあまりにもいろいろなことがあり（診療室の改装、LC の執行部入り、父の死去など）駆け足で１年が過ぎ去っていきました。今年は、地に足をしっかり踏みつけて落ち着いてがんばろうと思います。仕事に関しては、将来子供たちに尊敬されるような治療をしていきたいと強く思っているので、外に出てもっと勉強していきたいと思います。

ライオンズクラブの活動に関しては、なんとか先輩方の指導やお気遣いで執行部のお手伝いをしてきましたが、お蔭様ですごくよい経験をさせてもらっていると皆さんに感謝しています。

あと半年、至らないことばかりで申し訳ありませんが、馬の尻尾のようにいちばん後ろからではありますが、くっついて楽しくがんばろうと思います。

趣味に関しては、体を絞ってライダー復活を考えています　今後ともよろしくお願い申し上げます。

「ライオンズクラブ国際協会３３６―A　２R ４ZC 上半期をふりかえる」

ZC ・L 神　野　顕　彰

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり皆様のご万福と世界の平和をお祈り申し上げます。さてライオンズクラブの世界は、非常に合理的かつ精微に組織化されている。只、このネットワークを充分に活かしているかどうかは、現状の私の知識と経験では論ずることが出来ないでいる・・。

というのが、表題の英数字の羅列にある役割を担当しつつ、実感するところでもある。３３６は西日本、A は四国地区、２R（リジョン）は四国中央市より今治市までの東予地区、そして、４Z（ゾーン）は西条市であり、小松、東予、西条石鎚、西条の４クラブが存在、それを管理指導していく立場が C(チェアパーソン)である。そして、それを統括しているのがキャビネットであり、代表がガバナーである。

今年度は、高松にキャビネットが開設され松前ガバナーの積極的な指導のもと運営がなされている。日本にライオンズクラブが産声を上げて６０年の歳月が流れた。当初は第２次大戦、敗戦後の破壊と喪失感の中をさまよいつつ、未来に光明を見いだせない時代であった。したがって、ライオンズクラブの奉仕活動は、貧しさよりの救済活動で充分その役割を全う出来得た。そして、還暦年を迎えた次第である。さて、ここで還暦年(産年還り、第二の人生の始まり)という節目である。その年に４ZC の役職をあたえられ、その任期「上半期をふりかえる」ということであるが、地区キャビネットへ提出の「活動報告書」をもとに述べる。

2013 年 7 月に現 ZC 職を拝命し、その任務を全うするべく 2R 内の４名の ZC は、従来あった RC 職（ZC を統理する）を廃止した松前現ガバナーの判断を是とし、２リジョン内の年間行事の作成と４つの ZC の役割分配、年度当初に行う各スクールを文書回答方式により各委員に担当していただき、各ゾーンの諮問委員会時に各委員長会を開催することとした。

現在、上半期を経過し振り返ると、目前の事業や行事を消化する事に終始した感であり、ガバナー方針の「ときめく明日へウィ・サーブ」を基にクラブ支部の設立、女性会員の増強、家族会員推進計画（この計画は現在、日本特別プランとして山田第２国際会長のもと強力に推し進めようとしているプログラムである。）ドリームプランの作成等は、緒についたばかりというところでもある。与えられた猶予は残り３ケ月と認識し、推進していかねばとの思いである。総じて現況を論ずるならば、各クラブ会員諸氏の意識と国際協会をはじめとする各キャビネット構成員や各ガバナーの意識には残念ながら、かなりの温度差があることを認識させられた次第でもある。それは、単一クラブの１年間は、前年度の活動が規範となり、会長自らの方針の周知と具体化、例会運営、各事業の推進等々にて瞬く間に任期の１年間は過ぎ去ってしまうというのが現実であろう。ドリームプランの作成は、果たしてライオンズクラブの奉仕事業はこのままで良いのか？今後５年先を見据えた時、いかがなものか？というのが、ガバナーや国際協会の意向ではないかと思っている。個人より家族で取り組み奉仕していく転換期というのは、そこから来るものである。

クラブ会員の意識が、世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブに所属しているという自覚と誇りを有するには、ライオンズクラブが設立以来、１００年近く積み上げてきた奉仕実績を整理整合して提示、それを各会員等しく共有する事が肝要であることを思う。又、それを理解、促進していくことが、私たちの使命であり責任でもあることを思うと、ずっしりと重い荷物を背負ったようて、新年早々ではあるが肩が凝る思いでいる。どなたか上手な整体師をご紹介いただければ幸甚であります。

２０１４・年頭　合掌三拝

『　餅つき奉仕事業報告　』

環境保全保健福祉委員会
委員長　寺　尾　信　司

１２月１４日(土曜日)年末恒例の餅つきが、星の里とゆるぎ荘で開催された。年に１回ではあるが、入所されている方々も心待ちにしてくださり、今年一番の寒さの中ではあったが盛大に行うことができた。ゆるぎ荘ではメンバー７名と伊予銀行から助っ人４０名余りが駆けつけていただき、初めて杵をふるう若手行員さんのへっぴり腰に入所されているお年寄りから指導が入るなど、和気あいあいの内に８臼をつきおえた。

星の里ではメンバー１９名にＬＬの助けも加わり、寒風の中ではあったが５臼つくことができた。１年ぶりの顔馴染みとなったメンバーとの交流に、しばし寒さも忘れ、和やかな雰囲気の中、次々と杵をもち、嬉しそうに餅をつく園生に皆目を細めた。つきたてのお餅はやはり格別で少々形が不揃いのところを除けば、心のこもった餅になった。
来年も杵をもって餅つきができるように、メンバー各位足腰を鍛え直して頑張りましょう。
無事事業が開催できましたことを環境委員会一同大変感謝しています。
ありがとうございました。

今年大活躍した“餅切りマシーン”

2013年度YCE冬期派遣生壮行会

YE・国際協調委員会委員長　寺川　治美

今期冬期YCE派遣生として、高橋雅顕Lの御子息、顕彰君（19歳）をイタリアへ派遣することになり、12月20日関空より出発致します。これに先立ちまして、12月14日西条国際ホテルで35名の出席を頂き、盛大な壮行会を行ないました。

当日は2010年イタリアへ派遣されたＯＢ生　塩出穂乃香さん、2012年オーストラリアへ派遣されたＯＢ生　原貴志君の２名の出席を頂き、派遣時の体験談などの発表や、良きアドバイスもしていただき、大変参考になったのではないかと思います。

偶々塩出穂乃香さんは五十周年のとき、ＹＣＥ担当委員長として受入と派遣を冬期に行なった時の派遣生で、派遣先もイタリアということで、今回の派遣事業と全く同じ環境に偶然を感じます。

穂乃香さんの帰国報告会での派遣前とは変わった、自信を持った帰国報告を思い出します。

この様なＹＣＥ派遣事業は全世界に広がるライオンズクラブならではの事業だと思います。この様な機会を捉えて是非外国の文化に触れ、景色を観て、多くの人々と交流をしていただき、短い期間では有りますが、沢山の経験をして国際的な視野を持つ機会にして欲しいと思います。

新しい経験を沢山した、ＮＥＷ 顕典君のすばらしい帰国報告会を期待しています。

また当日は、午前中に環境保全・保健福祉委員会事業の年末恒例餅つき奉仕を行い、夜はＹＣＥ冬期派遣生壮行会にと出席して頂き、ライオンズメンバー、またライオンレディに感謝申し上げます。

GRAZIE

しっかりとした
決意を語る
顕典さん

ＹＣＥ派遣生 OB
が駆けつけて
くださいました

冬期 YCE 派遣日程

2013 年 12 月 20 日（金）　関西空港 KL868 便にて出発　→　アムステルダム到着（15：20）
～12 月 30 日（月）　WINTER　SICILY（キャンプ）Host Family　MARCELLO ARENA
～2014 年 1 月 4 日（土）　ホームステイ　Host Family　Gian Pietro Cuoghi
～1 月 9 日（木）　WINTER　CAMP　La　Bella　Italia　（Toscana）
1 月 9 日（木）　アムステルダム　KL867 便にて出発（14：40）各方面へ乗継
2014 年 1 月 10 日（金）　関西空港到着（9：30）

年末家族例会

出席計画委員会　今岡正士

2013 年 12 月 24 日（火）、毎年恒例となりました年末家族例会（今年はちょうどイブの日に開催でしたのでクリスマス会）がメンバー４１名（不在・終身メンバー含む）、御家族４５名で、総勢８６名の参加を頂き、リーガロイヤルホテル新居浜にて盛大に行う事が出来ました。
ご参加いただきました御家族様、ありがとうございました。
例会終了後、懇親会場に移動し、まずは参加者全員で記念撮影。その後、十亀興美 L の終身会員の表彰式と記念品の進呈が行われました。「昭和５９年に入会以来３０年、終身会員を拝命し We　Serve　に敬意を表し、次なる命を育てたい」と力強いご挨拶をいただきました。
神野顕彰 L による、「皆さんの幸せのために・・・メリークリスマス！」との乾杯のご発声の合図でクラッカーが会場全体に響きわたり、盛大な家族会がスタート。
先ずはじめに、ちびっ子達がサンタさんからクリスマスプレゼントを貰い、大喜び！
続いて、子供達によるプレゼント交換！何度も何度も「ストップ！」をかけられ、１８個のプレゼントは止まったり回ったりを繰り返し、やっと自分の手元に。開けてからのお楽しみ的なプレゼントが子供達の手に届きました。さて、気に入ったものが入っていたのでしょうか？
和やかなムードで歓談は続き、いよいよ大人達のクリスマスプレゼント！「ジャンケン大会」の始まりです。空クジなしで全員の手にわたるよう、そしてみんなが笑顔になってくれるようにと、選び抜いたプレゼントの数々。美味しくいただいてくださったでしょうか。
委員会メンバーである、正木 L の流暢な司会・進行さばきに、ますます盛り上がり、最後は全員参加の「ビンゴ大会」です。次々と「BINGO～！」の声高らかに、カードを手にステージへ。
たくさんのプレゼントの中から、好きなものを選んでいただきました。当たった方も当たらなかった方も、終始笑顔で最高のひとときでした。
締めは大きな大きな輪になって「また会う日まで」。
本日、奥様と参加いただいた十亀興美 L のローアで、終宴となりました。
執行部、委員会メンバーの皆様、お疲れ様でした。
新年は皆様にとって、素晴らしい年になることを祈っています。

十亀 L の「やらにゃ！！」節を
久々に聞き、身が引き締まる思いでした

例会終了後、慌ててサンタクロースに衣装チェンジ！
５人のサンタクロースさんで会場が一気にクリスマスムードに！

たくさんのクリスマスプレゼントに子供も大人も、みんな笑顔・笑顔・・・

手と手をつなぎ、大きな輪になり「また合う日まで」

スポーツ同好会活動

忘年！餅つき大会開催

村瀬文隆

12 月 22 日に毎年恒例のスポーツ委員会主催の餅つき大会を行いました。メンバー以外にも多くのＬＬ、子供たちも手伝って楽しく餅つきを行うことができました。

私も、子供二人を連れて初めて参加させてもらいました。餅つき奉仕も毎年仕事のため参加できないので、実は杵を使っての餅つきは子供の頃にした以来久々でした。子供たちももちろん初めての餅つきで、興味津々の様子でした。はじめに加藤誠也Ｌが杵を力強く、軽快に振っているのを見て私もしてみたくなって、させてもらいましたが数回でダウンしました。にもかかわらず、翌日は筋肉痛です・・・。しかし、つきたてのお餅は美味でした。中でも、みかん餅は絶品でした。他にも、特製ビルおでん・ビル焼きそばを美味しくいただきました。ありがとうございました。寒空の中でしたが、大勢で食卓を囲み、つきたての餅を好きだけほおばり、好きな事を言って笑い合っているのを見て、みんな家族みたいだなーと、ふと思いました。

お酒の手伝いもあり、心も身体も暖かい一日を過ごすことができました。

編 集 後 記

毎年、年を越す頃に寒波来襲の時期が来ます。霊峰石鎚山山頂も降雪に耐え、森林ブナの木を始め水を蓄え土壌に宿し、100 年の年月を経て西条平野の伏流水として甦ってきます。1 年間を振り返り、過去から新年の未来へ向けて、「こころ」を無にしてリセットする時間がこの年末年始なのかもわかりません。体調を整え鋭気を得て皆様、輝かしい新年をお迎え下さい。

皆様にはご多忙の中、会報誌の原稿をお願い申し上げ、大変有難うございます。今後もご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

PR・広報委員　伊藤　稔

発行者　会　長　原　育雄
幹　事　高橋雅顕
ＰＲ・広報委員長　村瀬文隆
編集委員　明比紳一郎・塩出正照・國田経仁・合田直司
野間賢次郎・伊藤隆治・伊藤　稔

例会日　毎月　第２・第４火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条国際ホテル
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ
〒793－0030　愛媛県西条市大町 771－1
西条国際ホテル1 F
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
E－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.org